

令和6年2月5日

名古屋市副市長
中田 英雄 様
杉野 みどり 様
松雄 俊憲 様

公明党名古屋市議員団
団長 さわだ 晃一

能登半島地震への支援に向けた要望

令和6年1月1日夕刻、最大震度7の大地震が能登半島を襲い、石川県を中心に広範囲で甚大な被害が発生している。被災地では、道路や水道設備等の破損により、地震発生から1カ月以上が経過した今も断水が続くなど、インフラの復旧も思う様に進んでいない現状が明らかになっており避難生活の長期化が懸念されている。

本市では発災当日から消防隊が現地に駆けつけるなど、地震発生以来、途切れることなく多くの職員が支援部隊として被災地に派遣され、一人でも多くの人命救助と一日も早いインフラの復旧、被災地の復興に全力で努めて頂いていることに感謝と敬意の念を禁じ得ない。

被災地ではいまだ大小の余震が続く中、厳しい冬の天候にも見舞われ、避難生活は一段と厳しさを増していると言わざるを得ない状況であり、被災者を取り巻く過酷な環境は察するに余りある。一刻も早く、救援・支援の手が行き届くように願わずにはいられない。

そこで名古屋市議員団は、本市の被災地支援について、下記の取り組みを進めていただくよう強く要望する。

記

1. 転入生徒への学習環境の整備や心のケアなど安心して学べるきめ細かい対応
2. 福祉的支援が必要な避難者の市内福祉施設への迅速な受け入れ
3. 市営住宅の提供について市民への積極的な情報提供
4. 市営住宅の提供について希望者への駐車場や給湯設備等生活必需品の無償貸与
5. 道路や港湾等のインフラ復旧に係る人的支援の積極的な提供
6. 本市避難者への健康管理への配慮
7. 必要な人的・物的支援の被災地のニーズに即した迅速な提供
8. 災害廃棄物の受け入れ準備
9. 派遣職員をはじめ支援業務に従事する本市職員のメンタルヘルスへの配慮

以上